

令和5年11月17日

瀬戸市議会議長 柴田利勝 様

住所 瀬戸市 [REDACTED]
[REDACTED]
氏名 瀬戸子ども笑顔の会
[REDACTED]
連絡先 [REDACTED]

マスクを外せなくなってしまった子どもたちの心身への配慮を
改めて求める陳情書

1. 陳情趣旨

瀬戸子ども笑顔の会は、子どもたちの健やかな成長を願う、市内在住の保護者を中心とした有志一同です。

2023年の冬がやってまいりました。コロナ禍と呼ばれた数年間、冬季になると小中学校をはじめとする教育機関においては、手洗いうがいに加え、アルコール消毒やマスク着用の奨励がより一層強化され、たびたび強制力を持った声掛けがあったことが、当会メンバーより報告されております（資料1）。

本年の10月時点であっても、保護者への配信を通して、子どもたちに対し、「着用してもしなくても良い」ことに関する説明や選択肢の提示無しに、マスクの着用を求めている学校もあることが確認されております。

現在でも、[ほとんどの生徒がマスクを常時着用している中学校]、[ほとんどの高学年児童が、マスクを常時着用している小学校]は、存在します。こうした小中学校では、夏場の熱中症が心配される場面、合唱や体育時などの呼吸が生命にかかわる場面であっても、多くの子どもたちがマスクを外すことが出来ずにいます。

当会メンバーからの報告を見る限り、学校や教員の判断により、通知内容や指導内容が大きく変わることは明らかであると言えます。現状での学校・学年・クラス単位での「ほとんどの児童生徒が常時マスクを着用している状態」は、『こうした通知や指導が影響しているのでは』との声も寄せられており、子どもたちの心身の状態が心配されます。

また、『既に感染症自体の予防目的ではなく、「自分の顔を見られるのが恥ずかしい」等の理由でマスクを外すことができない、“マスク依存”の傾向にある思春期の子どもたちに対して、それはマスクの本来の使い方ではないということを伝えて欲しい』との声も寄せられております。

是非、本来の子ども本人の「個人の判断」が出来るよう、改めて、正確な情報と的確な指導や声掛けをお願いいたします。

また、昨年度まで学校によっては、“受験生の存在”を理由として、マスクの着用を求める通知文を発出していたとの報告もあります。昨年度の冬季、受験生の保護者から多く寄せられた声の中に、『受験生を理由に、マスクの着用等の感染症対策を求めることは、受験生である子どもたちの不安感や負担感を増大させるため、やめて欲しい』との声がありました。



受験生の中にも、マスクを着用できない子どもたちやマスク着用によって集中力が阻害される等の理由のため、マスクをしない選択をする子どもたちが存在します。

今年度の冬季における通知文等の発出・発信時や受験等の場面を限定した通知や指導等に際し、“既にマスクを外せなくなっている子どもたちが存在すること”を考慮し、改めてご配慮をお願いしたく、陳情いたします。

2. 陳情事項

- (1) 本来の子ども本人の「個人の判断」が出来るよう、改めて、正確な情報と的確な指導や声掛けをお願いいたします。
- (2) 通知文等の発出時や受験等の場面を限定した通知や指導等に際し、“既にマスクを外せなくなっている子どもたちが存在すること”を考慮し、改めてご配慮をお願いいたします。

3. 参考資料

(資料1) 別紙1：当会に届いた声のまとめ

(資料2)

文部科学省 最近よくあるご質問にお答えします よくあるご質問 (FAQ)

https://www.mext.go.jp/index_00021.html#q1-28

《上記より抜粋を以下に転載》

Q 新学期の学校におけるマスクの着用については、児童生徒や保護者の判断に委ねられるのか。(令和5年4月5日更新)

A 本年2月の政府対策本部決定において、マスク着用の考え方が見直され、学校教育活動の実施に当たっては、4月1日以降、「マスクの着用を求めないことを基本とする」とされました。

今般の衛生管理マニュアルの改定は、この本部決定を受けたものであり、文部科学省としては、教職員や児童生徒間のコミュニケーションが円滑となり、充実した学校生活にも資することから、児童生徒のマスク着用は不要と考えています。

基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望する児童生徒もいることから、そういった者に外すことを強いることは適切ではありませんが、基本的には、新学期における学校生活においては、学校や教職員からマスクの着用を求めることなく、引き続き着用が推奨される特定の場面を除き、児童生徒がマスクを外して学校生活を送ることができるよう、児童生徒や保護者に対して丁寧な情報発信をお願いします。

【当会に寄せられたマスク着用に関する当事者や保護者の声】

1. 報告例より一部を抜粋（教育課に報告済み、令和4年度のもの）

- 教室内で、息苦しいからマスクを外していたらマスクをするように担任の先生から何度も言われた。苦しいと説明してもわかってもらえず、みんな我慢して着けていると叱られて泣いた。（小学生低学年児童）
保護者からは、子どもは泣きながら帰宅し、「もう学校に行きたくない」と子どもが言っている」「学校に伝えたが、担任は正しいことを言っているとの認識で、困っているとの報告があった。
- 暑さと息が苦しくてマスクから鼻を出していたら、鼻までするように担任から注意された（小学生低学年児童）
- マスクを外していたら、友達からマスクしろよ！と注意された（小学生高学年児童）
- マスクをしましょうと授業中に何度も学校で言われた（小学生高学年児童）
- 卒業式の練習中、何度も「マスクをしてください」と言われた。「マスクを外しましょう」は、ほとんど言われたことが無い。（小学6年生当時）
- 運動会は外なのに、「マスクをしてください」とアナウンスが入った（小学生高学年児童）
- 登下校中にマスクを外していたら、高学年児童から「マスクしろ！」「マスクしないなら話すな！」と怒鳴られた。怖くて、暑くてもマスクが外せなくなった。（低学年児童）
保護者からは、熱中症の方が怖いのに、マスクが外せなくなるような指導を学校や高学年がしているとの報告があった。
- 先生に「マスクを外したら喋るな」と言われたから、登下校中でも外さない。（高学年女子児童）
- 「マスクを外したらおしゃべりはしないよ」と書かれたお便りが配られた。喋りたいからマスクは外せない。（教育課より発出のもの、1年後に当会の求めに応じて修正）（高学年男子児童）
- 受験生のために給食は前向き黙食を継続しますと、学校から連絡がきた（中学生保護者）
- マスクをしていないと受験生として自覚をもつよう注意された（中学3年生当時）

2. マスクを外せなくなった子ども本人と保護者の声から一部を抜粋 （令和4年度～令和5年度報告のもの）

- 登校時もマスクをして学校へ行っており、マスクが見つからないと半泣きになって探す様子がみられる（中学生の保護者）
- 本当はマスクを外したいが、クラスのほぼ全員がマスクをしていて、外す空気じゃない。（中学生）
- 体育が終わるとみんなマスクをつけ始めるため、自分もなんとなくしている（中学生男子）

- 学校ではみんなマスクをしているけれど、休日に会うときは外しているのが変だと思う（中学生男子）
- 親と一緒にいる時はマスクを外せるが、友達と一緒にいる時はマスクを外せない（高学年女子）
- 顔を見られるのが怖い。思った顔と違ったと思われたくない（中学生女子）
- 子どもが靴を履くタイミングでマスクをしている。外さないのか聞いたら、みんなしているからと答える。（中学生の保護者）
- マスクを外した時に、顔を見て笑われた。もう絶対にマスクは外せない。（小学校高学年女子）
- マスクを外していたら、「そんなに顔に自信あるんだ〜」と言われた。（高校生女子）
- 真夏でもずっとマスクを着けているせいで、肌荒れがひどく、皮膚科に通わねばならなくなった。皮膚科医には、清潔にして乾燥させることが必要と言われたが、マスクを外せない。（小学校高学年女子の保護者）
- 学校の教員はマスクの着用指導をしていたのに、外す声掛けは必要なタイミングでも全くしない。（中学生の保護者）
- 中学校の授業参観日、教員や観ている保護者は素顔なのに、子どもたちだけが全員マスクで異様な光景だった。誰が発言しているのか全く分からないし、声も全然聞こえない。（中学生保護者）
- 合唱を見に行ったが、全員マスクをしていて、我が子を見つけるのに苦労した。合唱中に外さない理由が分からない。歌ったら苦しいはずなのに、外せない子どもたちが心配。
- 中学校前を通ったら、長距離走中の子どもがマスクをして赤い顔で、肩で息をしていて心配になった。女子はほとんどの生徒がマスクをして走っていた。（幼児保護者）
- 暑い日の体育祭でも、女子たちはきっちりマスクをしていた。記念写真の時もマスクをしていて外せないんだなあと考えた。（男子高校生）
- 中学校の運動会で、リレーの時でも子どもたちがマスクをしていて驚いた。30℃近くある日で、保護者や先生のほとんどがマスクをしていないのに、運動をする子どもだけがマスクをしているのは、声掛けが必要なのでは？と思った。（中学生保護者）
- 「私の知る限りほとんどの子どもがマスクを外している」という議員さんが居るけれど、ちゃんと全学校調べて欲しい。ほぼ全員マスクをしている学校もある。ほぼ全員がマスクをしている同町圧力の中ではマスクは外せないと子どもが言っている。（中学生保護者・高学年児童保護者）
- みんなマスクをしているのに、自分だけ外すなんてできない。（中学1年男子）